

第126号

2022年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
http://www.eikoen.jp/
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

職員のあなたに 「アドボケイト」はいますか？

大分大学 福祉健康科学部 社会福祉実践コース

博士(社会福祉学) 専任講師 栄留 里美



次の質問に職員としてチェックをつけてみましょう。

わたしの人権は守られていると感じている。
 子どもの暴言・暴力について安心して相談できる人がいる
 いやだなって感じたとき、その気持ちを相手に伝えることができる

私は「子どもの聴かれる権利のチェックリスト」を12月の新刊『子どもアドボカシーと当事者参画のモヤモヤとこれから』（明石書店）の中で書きました。そのチェックリストを研修でやってみると、職員自身の人権チェック部分で失笑やため息が聞こえてきます。長時間労働や、自分の気持ちを言える職場かどうか...というのです。支援者

の人権が守られない中で子どもの人権が保障されるでしょうか。

トラウマインフォームドケアで著名な野坂先生のご著書に、飛行機の緊急事態の際に下りてくる酸素マスクの例が出てきます。おとなが酸素マスクをつけ、その後子どもに酸素マスクをつけるよう指示がなされます。酸欠状態では子どもの救命は不可能だからです。今、日本の多くの施設職員さんたちは酸欠状態で乱気流の中をどうにか気力だけで進んでいる状況なのではないでしょうか。

「酸欠」状態では、子どもの人権について保障しようという気すら起きにくくなります。子どもの人権について「わがままになるのではないか」「これ以上無理だ」という反応。アドボケイトの導入についても「私達ができていないということか」という防衛や「仕事が増える」という反応が生じやすくなるように思います。

以前、私は職員さんたちの疲弊に気が付きながらも、一方で「支援者なのにどうしてわかってもらえないのだろうか」と落胆す

(図1)トラウマ臨床でみられる並行プロセスの例

子ども・クライアント	支援者・職員	組織
自分なんて...	自分は何もできない	組織としてやれることは限られている
話したって無駄	誰にも相談できない	それって自己責任じゃないの？
話したくない、放っておいて	新しいことをする余裕はない	余計なことをするな、前例に従え
人との関係は「やるか、やられるか」だ	いざとなれば力で抑え込むしかない	言われたとおりにやればよいのだ

野坂2020138

れる人」を一言ずつ述べます。スタッフは自分の気持ちに気付き、それを仲間と分かち合います。目標を意識し、お互いをあてにし、あてにされる関係性をつくり出します。職員同士がお互いの「アドボケイト」になるというイメージでしょうか。「新しいこと／良かったこと」を一言言うなどでもいいかもしれません（私はゼミで行っています）。気持ちを安心して言え、否定しないで聴かれる、そして助けてもらえる文化を施設職員から創っていくことが、すなわち子どもの声を聴くことにつながると思っています。すでに栄光園さんでは工夫しているとは思いますが、何か参考になることがあれば幸いです。

前号で書いた子どもの声を聴く独立した「アドボケイト」は聴く文化Ⅱアドボカシーの文化をいっしょにつくっていくパズルのピースの一つです。ともにアドボカシーの文化をこの大分で創っていきましょう。

引用文献 野坂祐子(2020) 『トラウマインフォームドケア 問題行動を捉えなおす援助の視点』日本評論社・Kindle版

栄留里美／大分大学 専任講師
子どもアドボケイトの研究・養成・実践に取り組んでいる。

【近刊】
栄留里美・長瀬正子・永野咲(2021)
『子どもアドボカシーと当事者参画のモヤモヤとこれから』
子どもの「声」を大切にする社会ってどんなこと？
明石書店

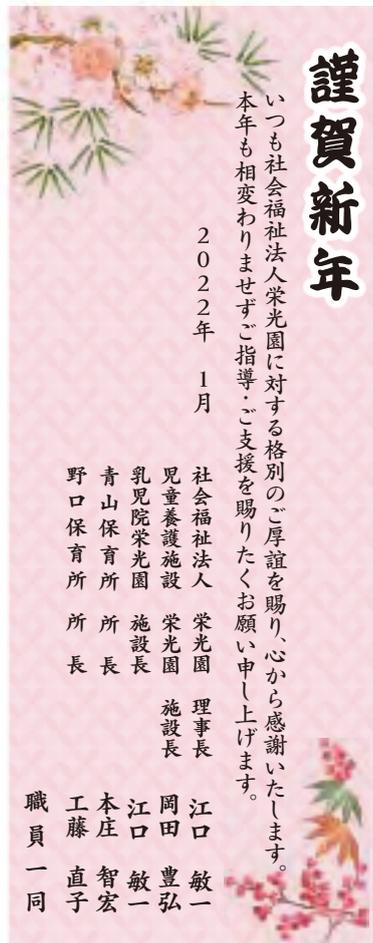


謹賀新年

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。本年も相変わりにませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2022年 1月

- 社会福祉法人 栄光園 理事長 江口 敏一
- 児童養護施設 栄光園 施設長 岡田 豊弘
- 乳児院栄光園 施設長 江口 敏一
- 青山保育所 所長 本庄 智宏
- 野口保育所 所長 工藤 直子
- 職員一同



児童養護施設

今年度初めてのホーム行事

ムラカミホーム
児童指導員 土谷 聡一

今年度ムラカミホーム初めてのホーム行事を行いました。各担当との外出などは行っておりましたが、コロナ禍でもありホーム全体での行事が出来ずに行きたくらいという要望があり、感染状況を見ながら、ようやく行事を行いました。

この日は、昼食から夕食まで、まる一日を皆で楽しく過ごそうと計画していました。

まずは、焼肉キングで昼食を食べるところから始まりました。外泊中の児童も合流し皆でお腹いっぱい食べました。メニューの中で好きなものを選び満足そうでした。普段、食べる機会が少ないものなど、食べ方が分からず職員に聞く姿がありました。新しい良い経験になったと思います。

その後、うみたまごに行き、トドなどのショーを見たり触れたりしながら生き物の感触やにおいを感じ、少し匂いがきつかったものの良い勉強になったようです。また珍しい魚や普段食べている魚など様々なきた魚を見て色々な意見が出て楽しかったです。クリスマスマツツリーに願い事を書き、ペンギンと



写真を撮りました。夕日が落ちてからは大分駅前のイルミネーションを見に行きました。「わ

あー綺麗」と目を輝かせていました。夕食では、昼食でお腹いっぱい食べた子も、メニューから食べられるものを選び注文している姿が見られました。

帰園後は片付けなどのお手伝いをしてくれ、皆の気持ちがとても嬉しかったです。コロナ禍でもあり外出など出来ない状況ですが、社会の様子を見ながらまたホーム行事を行いたいです。

「楽しかったね」

ノマチホーム
保育士 竹原 史雅

昨年は、夏期恒例のホームキャンプは実施出来ませんでしたが、今年度は、高校3年生の2名の児童より強い希望があり、卒園前に良い思い出を作りたいと思われ、実施しました。例年同様の9月は県内市内の感染者状況を考慮しても油断が出来なかつたため、感染状況が落ち着いていた11月中旬での実施となりました。11月実施のため、防寒対策にも考慮しました。

キャンプ当日はそれまで出ていた雨天の予報を跳ね返し晴天に恵まれました。長崎鼻リゾートキャンプ場は海水浴場も併設されているため海風の寒さが予想されましたが、思いのほか寒くなく心地よい気温でした。岩場でカニや魚を見つけたり、砂浜ではみんな裸足になりビーチバレーをして楽しく過ごしました。現役の学生に交じってのビーチバレーでしたが、時には勢い余り海に入りそうになってしまったり、飛び込んだりとまだまだ負けられない戦いでした。

キャンプの醍醐味BQでは、骨付き肉にかぶりつき、焼きおにぎりをほお張ったりと好きなものを好きなだけ食べて全員満足していました。2日目は縁結びの神様で知られる粟嶋

公園の粟嶋社に男集団で訪れ、仲良く参拝しました。



日頃はちゃんやな児童が物静かなったり、物静かな児童が活発に行動したりと一人一人違う一面が見られ、やっぱりキャンプは楽しいですね。高校3年生にとっても栄光園での楽しい思い出として記憶されていくことでしょう。

旅立つ児童より

私は、現在卒園に向けて、車の免許を取得するために自動車学校に通っています。また、将来に備えて貯金や携帯電話料金の支払いのためにアルバイトをしています。学校と自動車学校とアルバイトと大変ですが、スケジュール管理や体調管理をしながら、両立ができるように心がけています。ただ頑張るのではなく、貯金をする、自動車免許をとるといった目標があるからこそ頑張れるのだと思っています。これから卒園まで頑張っていこうと思っています。

そして、私これから一般企業に就職し、卒園後は祖母と生活をする予定です。生活環境が一気に変わるとは思いますが、そんな中で私は何事も伝えることを大事にし、わからなかったり困ったりしたら相談をするように心がけ、できる限り一人で間違った判断をしないようにしていきたいです。たとえ間違ったとしても次に生かすことできるように失敗から学び、次に生かしていきたいと考えています。

「今までを振り返って」

私は、小学校4年生の時に栄光園に入所しました。その時は、何も分からないまま入所したので、当時のことはあまり覚えていません。ですが、職員さんにとっても優しく、丁寧に

ご指導して頂いたのは覚えています。私は、小学校5年生の時にサッカーを始めました。最初は友達から誘われて入ったのであまりサッカーに興味はありませんでしたが、友達とサッカーをしていくうちに、サッカーに熱中していききました。

中学校では市の新人戦で優勝など大きな成果を出すことが出来ました。高校ではあまり大きな成果は出せませんでした。高校3年間サッカーを続けたことがとてもいいことだったと思います。その際にも、栄光園の職員さんには、色々な面でサポートして頂きました。私がサッカーを8年間続けることが出来たのは、栄光園の職員さんや周りの方々のおかげだと思っています。

そして、高校生活では、叱られることも沢山ありましたがその分、学ぶことも沢山ありました。現在では、就職先も決まっております。自立に向けて洗濯物を自分でしたり、お金の管理を自分で行ったり将来に向けて頑張っています。これからは、今までの生活を崩さず残り少ない園生活を大事にしていきたいと思っています。

私は、18年間栄光園で生活してきました。栄光園での生活も残りわずかとなりました。18年間を振り返ると、嫌なことも楽しいこともたくさん思い出があります。充実した毎日を送ることが出来たのも、職員さんや友人をはじめたくさんの方々の支えがあったからだと感じています。

私はこれまで素直になれずに、嘘をついたり、人の気持ちを考えることが苦手でした。そのたびに叱られても、なかなかおすことが出来ずに、自分の気持ちばかり優先してしまいました。職員さんは、何度同じ失敗を繰り返しても、見捨てることなく、そのたびに叱ってくれました。卒園を間近に控え、これまでの生活を振り返る中で、自分の失敗に気がつきましたが、そんな私を支えてくれた人々には感謝の気持ちでいっぱいです。

卒園後は、一社会人として生活していきます。完全に自分の欠点を補えたわけではありませんが、人の気持ちを考えること、何事にも感謝することを忘れず、今後は自分も誰かの役に立てるように頑張っていきたいと思っています。

(M・K)



日本の伝統“餅つき”でお正月準備

栄養士 佐藤 朱美

子どもたちも冬休みに入った昨年末の12月27日に餅つきを行いました。例年ならば、とても賑やかな一大行事となっていた餅つきですが、昨年も一昨年に続き今年もコロナ禍ということで中止を余儀なくされ、最小限の規模での餅つきとなりました。

お餅は、ノマチホームの元気な中高生や力自慢の職員に協力してもらい、臼と杵で本格的にべったんべったんについてもらいました。小学生の男の子は、「はいっ!はいっ!」と元気いっぱい声援を送り、その場にいた皆が一丸となり大いに盛り上がりました。臼と杵でついたお餅は、機械つきのお餅と違い、ふわっとした何とも言えない柔らかさがあり、子どもたちも美味しいと笑顔が溢れていました。

ついたお餅は、正月飾りの鏡餅とお正月に食べるお雑煮用の小餅にしました。いつもならその場で満足するほどお餅を堪能するところですが、今回はお正月用の餅つきということで、試食程度に止め、後はお正月の楽しみとしてとっておいてもらいました。

それぞれのホームで鏡餅を飾り、おせちとお雑煮でお正月を満喫することが出来ましたが、今年こそはまた地域の方々と一緒に、みんなで楽しい餅つきが出来ることを祈っています。



乳 児 院

あけましておめでとー(ご)さいます。

今年も全員(子どもも大人も)元気で新年を迎えることができ、これからも子どもたち一人ひとりが心身共に健やかに成長できるように、職員一同協力して丁寧に養育をしていこうと思えます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

少しずつ日常を取り戻しています

統括グループリーダー 得能 三志郎

一昨年前より新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し、一番変わったことと



言え、子どもたちが、院外になかなか出る機会が持てず、かわいそうな思いをさせていたことです。特に0歳で乳児院に入所し、現在2歳前後の子どもたちは、院外にほとんど出たことがなく体験・経験不足になっていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきた昨年の10月頃より、感染症対策を行いながら、少しずつ園外保育に出かけ今までの不足分を取り戻しています。

公園や河川敷に散歩に行ったり、また車

で海や、うみたまご、アフリカンサファリに出かけたりしました。始めは、不安で、車に乗ると泣いたり、出かけた先で固まってしまったり、子どももいましたが、園外保育を繰り返していく内に、笑顔が見られるようになり、園外保育を楽しめるようになってきました。まだ、新型コロナウイルス感染症は終息には至っていませんが、上手にコロナと付き合いつつ、「子どもたちの幸せのために」頑張っていきたいと思えます。

乳児院の子どもと里親

乳児院 里親支援専門相談員

本庄 公多子

2016年(平成28年)に児童福祉法の一部を改正する法律では、「児童の権利の明確化」と「家庭養育優先原則」があげられました。また2017年(平成29年)には「新しい社会的養育ビジョン」が打ち出され、3歳未満の子どもの里親委託率は75%以上とされました。

乳児院の子どもたちは、2歳の誕生日を目途に次の生活の場へ移っていきます。それは、家庭だったり、児童養護施設だったり、里親家庭だったり様々です。

最近では、家庭に帰る子どもと数多くいる割合で里親家庭へ行く子どもが多くなりました。里親は養育里親(育ての里親)と特別養育里親(養育里親を前提)と2種類ありますが、乳児院の子どものほとんどは、前者の養育里親の家庭へ行きます。里親家庭へ行って、実の家族と交流ができ、定期的に面会をしている子どももいます。

里親と交流が始まると、面会、外出、宿泊を経て、乳児院から里親の家庭に生活の場が移りますが、出会ったばかりの時は、職員

とは違う大人に戸惑い、不安そうな様子を見せます。しかし交流を重ねていくうちに「安心できる大人の顔」「自分だけに会いに来てくれる人」とその子にとって「特別な存在」になり、子どもも交流を喜ぶようになっていきます。

乳児院を退所し里親宅へ行った後も、私たち里親支援専門相談員が家庭訪問をし、子どもたちの様子をうかがい、里親の不安や困りごとなどを聞きながら支援をしています。そのころになるとすっかり「里親さんの子ども」になっていて、私たちの顔を見て泣かれることもありませんが、それは子どもにとって安心できる人(居場所)ができた証拠だと嬉しく思います。

小さい頃から施設で育ち、「家庭」を知らない子どもたちが多い中、里親の「家庭」で安心して生活をし、また施設ではできない様々な経験をさせてもらえることはとてもありがたいことです。また子どもたちが将来家庭を持ったときに、自分の体験がモデルになるのではないかと思います。

青山保育所

「あっぷっぷ」

保育士 渡邊 歩

うさぎ組0歳児の子どもたちは絵本が大好きです。絵本を読み始めると、読み聞かせをする保育士の前にちょこんと座りよく見えています。時には読んで欲しい絵本を指さして、読んで欲しいことをアピールする姿も見られます。お気に入り「あっぷっぷ」という絵本。いろいろな動物たちが出てきて「あっぷっぷ」をします。子どもたちはこの絵本を見ながら、「あっぷっ



クッキング楽しかったね♪

保育士 小野 恵里

きりん組のお友だちはトッピングクッキー作りに挑戦しました。グループごとに材料を順番に入れる人、混ぜる人と分担し、仲良く生地を作っていました。また、4種類のトッピングを用意し、顔を作ったり、カラフルに乗せたりと夢中になってトッピングしていました。可愛いクッキーが焼き上がり、大喜びでした！
定期的にクッキ



ぶ」や「わらっちゃった」などの言葉で真似して言うことを楽しんでいきます。最近では、知っている動物の名前を言ったり、お友だちの名前を呼んだりとおしゃべりがとても上手になっています。まだ発語までではない子どもも、指差しや喃語を盛んに発する姿があります。今後も、絵本の読み聞かせをしたり、子どもたちの発する声に丁寧に応え、言葉を育んでいけたらと思います。

ングを行ってききましたが、友だちと順番でしていくことや、友だちがしている時に隣で道具が動かないように支えてあげる姿などが自然に見られ、クッキングを楽しむだけでなく、そういう役割も出来るようになってきた姿に成長を感じました。

ドキドキワクワク体験遠足

保育士 大海 さくら

12月8日に5歳児のお友だちは体験遠足に行きました。バスと電車でホルトホール大分へ行き、溝部学園短期大学生による「ミニジックカーニバル」を観ました。その後レストランでランチを食べ、アミューズメントでランチをして屋上広場で少し遊びました。

園に帰ってから土産で買ったドーナツを友だちと食べながら遠足の思い出を楽しそうに振り返っていました。バスや電車に乗る際に自分で運賃を支払ったり、切符を買ったりしたこと、レストランや商業施設など、公共の場所での上手な過ごし方など沢山のことを学び、体験することが出来ました。社会の様々なことに興味を持ち、気付いていました。好奇心を大切にしながら就学に向けて、新しいことを知る機会を沢山作っていききたいと思っています。



聖書の言葉

「わたしは彼らの悪を赦し、再び彼らの罪に心を留めることはない。」

(エレミヤ書31章34節から)

別府不老町教会伝道師 尾崎 二郎

「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」この言葉は、イエス様の降誕劇で必ず語られる天使の言葉ですが、今日は「救い」ということについて考えてみたいと思います。

キリスト教の説く救いについて皆様はどのようなイメージをお持ちでしょうか。それは天変地異による大災害や、人生における苦難や、悪しき支配者による圧制などからの救いでしょうか。或いは、イエス様が多くの方々の病気を直された奇跡の業でしょうか。

実は、これらのことは神の救いの現れです。そして神の救いの中心にあるのは、罪があるゆえに救われない人々が、神によって救われることなのです。さて、キリスト教が説く罪と、この世で語られる罪との間には違いがありますが、そのことを語るには紙幅が足りませんので今日は、両者に共通する罪悪感というものを注視して説明します。

罪悪感を辞書で引きますと、「罪をおかした、悪いことをしたと思う気持ち」という様に簡潔に記されています。このように罪悪感とは、私たちの

ごく身近にいつも在るような感情です。しかしその奥深さには計り知れないものがあります。それについて語るには私は体験が不足していますので、長年心理カウンセラーをされている根本裕幸氏の言葉をご紹介します。「この罪悪感という感情は、つねに自分を攻撃し、しあわせにしないためにふるまうものですから、その罪悪感がどんどん積みあがっていくと、何に対しても『自分が悪い』という思いこみに至ります。なにかトラブルが起きたときに『あ、もしかして、私のせい?』と感じてしまうのはその一例ですし、もつと言えば、『今日雨が降っているのも私のせい』などと感じてしまうのです。まるで自分のことを、疫病神のように扱い始めるんですね。」これを読みますと、罪悪感が深まり罪悪感に執着する自分を最早コントロールすることが出来ない状況を目の当たりにさせられます。

このような好ましくない状況に陥ってしまった人々をイエス様は救おうとしています。罪悪感が、私たちのごく身近にいつも在るような感情であるだけに、イエス様も又、私たちの身近で私たちが常に見ていて下さいます。

クリスマス会に サンタさんがやってきた♪

保育士 尾原 亜紀

2月24日のクリスマススイブ。登園すると、園庭にクリスマスソングが流れていたりと、保育士がサンタ帽を被っていたり！いつもと違う様子にばんだ組の子どもたちはウキウキソワソワしていました。クリスマス会では、5歳児の演じる聖劇やハンドベル演奏を見ました。そして、鈴の音と共にサンタさんが登場！保育士にしがみついて大泣きしてしまった子もいましたが、ほとんどの子は「サンタさん！」「きたあ」と嬉しそうでした。ところが、次から次へとサンタさんが入ってきて、3人のサンタさんが勢揃い！これにはビックリの子どもたちでした。



クリスマスは子どもたちにとって特別な日。ワクワクして指折り数えて楽しみに待っていた自分の幼い頃の姿が今の子どもたちの姿に重なり、気持ちが手に取るように伝わってきました。これからもたくさんさんの夢と希望を与えてくれる『サンタクロース』の存在を子どもたちに伝えていきたいと思えます。

楽しかった発表会

保育士 松本 真人

別府市コミュニティセンターで2021年度発表会がありました。ぞう組のお友だちは、たくさんさんのプログラムがある中「は

やく見せたいな」「あと10回寝たら発表会やね！」と本番を楽しみにしながら練習に参加していました。

当日は、少し緊張した表情の子どもたちでしたが、いざステージに立つと堂々としたダンスや劇を披露していました。控室に戻ると「あゝ緊張した〜！」と安心していたり、達成感を味わったりしていました。

お友だちは、練習の度に「きょうは何点だった？」と保育士と一緒にその日の振り返りをしていました。きょうの練習で良かった点、もう少し頑張る点を確認してそれが数値化されて点数が増えていくことでやる気にもつながったようです。今回の発表会を通して遅しく立派に成長した姿をご覧いただけたと思います。

昨年中は大変お世話になりました。今年度も残り3ヶ月。子どもたちと楽しい思い出をたくさん作っていききたいと思えます。

本年もよろしくお願いたします。

青山保育所 職員一同



野口保育所

主任保育士 末吉 佳奈

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願致します。昨年の秋から冬にかけての行事を、少しずつですがご紹介いたします。

運動会

10月23日(土)栄光園グラウンドにて行いました。

運動会のテーマは「オリンピック」でした。お家の方がたくさん拍手で応援してくれ、子どもたちはどのプログラムもかっこよかったです。運動会を経験したことと子どもたちの自信となり、また一つ成長したのではないかと思います。



秋の味覚祭り

秋といえば「食欲・味覚の秋」ということで、食育の一環で味覚祭りを行いました。給食の先生が目の前で野菜を切ってくれ、切る音を聞いたり野菜の匂いを嗅いだしました。その後はコロナ対策をしっかり行いながらみんなでクッキング！0〜3歳児は野菜をちぎり、4歳児はすいとん作り、5歳児は包丁を使って野菜を切りまし

発表会

1年間の集大成ともいえる発表会を12月4日(土)に行いました。当日は大勢のお客様の前で緊張しながらも最後まで踊ったり歌ったりと子どもたちの成長した姿がたくさん見られました。日々保育園で生活する中での経験や色々な行事を経験してきたこと、当日お家の方からの拍手やたくさん褒めてもらったことで子どもたちの自信になったように感じました。



た。この日は晴天だったので、みんなで園庭で食べました。給食の先生がテラスで給食のプルコギを焼いてくれたり、すいとん汁を作ってくれたのでい



もちつき

毎年恒例の餅つき大会。3歳以上の子どもたちがお餅をつき、3歳未満の子どもたちが「べったんこべったんこべったんこ」お餅をつきましょべったんこ」と歌って応援しました。

その後は、子ども一人ひとりがお餅の感触を確かめながら各クラスの鏡餅を作りました！ 醤油ときな粉のお餅も食べ、昔ながらの伝統ある餅つきを子どもたちと経験することが出来て、またひとつ楽しい思い出が残りました。

総合避難訓練

12月に消防署の方に来ていただき、総合避難訓練を行いました。消防署の方のお話を聞いたり、運転席に乗せてもらったりして嬉しそうな表情の子どもたちでした。

毎月行っている避難訓練ですが、消防署の方に来てもらうといつもと違う雰囲気緊張しました。いつくるかわからない災害ですが、日頃の避難訓練を積み重ねて子どもたちをしっかり守れるようにしていきたいと思えます。



ミュージックカーニバル観劇

12月10日(金)にビーコンプラザで行われたミュージックカーニバルを3、4、5歳児で観劇しました。ジャンボタクシーに乗ると子どもたちは大喜び、大興奮でしたが、いざミュージックカーニバルが始まると、子どもたちは静かに集中して観ていました。終わってからもお友だち同士で観劇したことを話す姿があり、良い思い出になりました。

クリスマス会

子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会！ 保育室・廊下・窓に飾られたクリスマス一色の飾りの雰囲気毎日「サンタさん来るかなー」と子どもたちは楽しみにしている様子でした。会では、5歳児の子どもたちが担当保育士と一緒にサンタさんのお話をしました。みんなで歌を歌ったり楽しんでると、野口保育所にもサンタさんが...！プレゼントももらった子どもたちは大喜びでさっそくお友だちと楽しんでいました。給食は、クリスマスランチをみんなで



食べて楽しいクリスマス会になりました。

最後になりましたが、これからも子ども一人ひとりとしっかり触れ合い、子どもたちが毎日楽しく過ごしていけるよう、そして卒園していく子どもたちの良い思い出になるよう、残りの3か月も職員一丸となつて頑張っていきたいと思えます。本年もどうぞよろしく願います。

野口保育所 職員一同

地域交流事業 集いの場くるみ

地域支援担当 原田 康子

デイキャンプ

11月20日に、デイキャンプを行い18人の子どもたちが参加してくれました。

ファイヤースターターで麻の繊維に火種を飛ばして火をおこす体験をしてもらうなど初めての体験に皆興味津々でした。そして、いよいよカレーライスづくり、ご飯炊き、焼き芋の熾火づくり、サツマイモを新聞紙やアルミホイルで包むグルーブの4グループに分かれ活動に入りました。

今回のデイキャンプは、みんなが一生懸命火を燃やしたり、ゆつくりとお友だちとおしゃべりをしたりとのんびりと過ごしている姿が印象に残りました。アンケートでも「楽しかった！」という声が多く、誰一人けがをすることもなく無事デイキャンプを終えることができたことに感謝です。また、みんなで今回のようなゆつたりと過ごせる企画を考えていきたいと思えました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

クリスマス会

12月の集いの場ぐるみの活動は、クリスマス会を行いました。

今回のクリスマス会では、クリスマスのお話を聞いたり、クリスマスカードを作ったり、手品を見たり、ビンゴゲームをしたりして楽しみました。

クリスマスのお話は、「サンタクロースと小さな木」のお話をしました。皆静かに聞いてくれていました。とてもやさしい心がほっこりするお話なので良かったらYouTubeで検索してご覧になってみてはいかがでしょうか？

次に取り組んだのは、クリスマスカードづくりです。子どもたちに「大切な人に向けてあげましょう」と声を掛けて作り始めたので、子どもたちの大切な人に向けて素敵な1枚のカードを完成させていました。

そして、「温泉たま子さんのマジックショー」を楽しみました。次から次に披露されるマジックに、「どうなっているのかな？」とマジックの世界に引き込まれていきました。



最後は、お楽しみ品のビンゴゲーム。今回の景品は「明治安田生命大分支店別府営業所」が準備して下さいました。すべてのプログラムを終え、お土産のケーキを手にとって笑顔



明治安田生命様

ありがとうございました

今回のクリスマス会では、明治安田生命大分支店別府営業所の皆様のご協力がありました。くるみの子どもたちへのお菓子のご寄付や、活動の際にはボランティアとして活動のお手伝いをしてくださいました。ありがとうございました。



で家路につきましたが、今年最後の活動でしたので、子どもたちから「よいお年をお迎えください。」と挨拶され感心しました。
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため様々な制約がある中でとにかく今できる事をしていこうと様々な企画を考え運営して参りました。まだしばらくは現在のように制約を設けながらの活動となると思われませんが、どうぞよろしくお願致します。



退職 職員 の 勤 静

伊藤 文代 (調理員) 11月30日付
野口保育所
野口保育所
佐藤 紘美 (保育士) 11月1日付

お気に入りの1着を見つけました!

旬トスカパニー様より衣料品のご寄付を、また、みらいこども財団様の仲介で㈱ファーストリテイリング様より衣料品のご寄付をいただきました。ある休日の午後、子どもたちを集まってもらい自分に合う洋服を探してもらいました。みな笑顔で楽しそうに洋服を選んでいました。翌朝早速いただいた上着を着て登校していました。ありがとうございました。



子どもたちから堀田一燈園様へ

くるみの子どもたちからのメッセージを堀田一燈園様にお渡しすることができました。一燈園のみな様からは、かわいいリースをたくさんいただきました。ありがとうございました。



栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2021年10月1日より2021年12月31日まで】

賛 助 金

- 安部道人様 大分市
安部保様 別府市
池田順行様 町田市
石渡恵美様 別府市
宇戸美和子様 大分市
太田佳子様 浜松市
金谷正明様 大分市
鎌田宏子様 横須賀市
木村洋子様 大分市
吉良頌三様 別府市
貞閑公認会計士事務所 貞閑孝也様 大分市
竹長イツ子様 大分市
立花旦子様 大分市
永尾福康様 別府市
日本基督教団北九州復興教会様 北九州市
長谷川士郎様 別府市
久恒正典様 別府市
帆足和生様 別府市
松本小児科 松本重孝様 別府市
宮沢淑子様 大分市
日本基督教団門司教会様 北九州市
山口産業(株)様 別府市
(株)栄光建設様 富田林市
秋吉タタミ店様 別府市
安部良一様 日出町

一 般 寄 付

- 飯田法子様 佐伯市
伊勢方信様 別府市
猪股通安様 別府市
岩田哲也様 大分市
栄留里美様 大分市
エンジョイゴルフ大分事務局様 別府市
大分銀行労働組合様 大分市
大宮遊技場組合様 さいたま市
影山隆之・由利様 大分市
(株)一粒社ヴォーリス建築事務所様 福岡市
亀井浩様 別府市
小手川裕市様 別府市
佐伯市嘉風会 会長二田由造様 佐伯市
三栄建設工業(株)様 大分市
税理士法人アール様 大分市
袖潤三枝子様 中津市
高木政嗣様 別府市
匿名様 別府市
匿名様 大分市
日本競輪選手会大分支部様 別府市
萩野克彦様 箕面市
原順子様 別府市
別府不老町教会婦人会様 別府市
別府不老町教会様 別府市
松本常圃様 別府市
宮本妙子様 別府市
(株)工房輪葉様 大分市
(株)ちはらコーポレーション様 別府市
吉村克幸様 福岡市
ルミエール歯科 藤井茂仁様 別府市
渡辺英喜様 大分市
第一生命労働組合大分支部様 大分市
税理士法人大分総合会計事務所 代表社員 蔵前達郎 別府市
安東秀典様 大分市
kohaku(有)様 別府市
岡口文明様 大分市
梶原康弘様 大分市
神鳥慶子様 杵築市
波多野郁子様 別府市
平川順子様 別府市
南範子様 中津市
匿名様 中津市

自 立 進 学 資 金

特別物品寄付

スリッパ (資)合澤文化堂様
おせち アサヒビール(株)様
ねぎ・さといも あべ様
マリトツツオ 安部純子様
映画招待券 安部順子様
野菜 安部尚子様
ジュース アマゾンジャパン合同会社様
靴・スタイ・紙おむつ・マスク・服 安東秀典様
スタイ・パジャマ 池田絢子様
パン 石窯工房モコモコ別府店様
サツマイモ 伊藤一幸様
ベビーベッド 稲島志八様
おもちゃ 稲島千香様
お菓子 ヴィーナスギャラリー別府様
お菓子 匿名様
みかん 上杉敬三様
シャンプルー・図書券 West Wing/ビュティモア様
クリスマスケーキ (有)TN保険ひろば様
アイスクリームケーキ (株)オアシス様
梨 大分県なし研究会様
温泉パチロー図書 大分県遊技業協同組合様
お菓子 大柳恵子 たんぼぼ食堂様
米 荻原書籍様
衣類・米 乙津吉人様
米 内成活性化協議会様
文房具 影山由利様
絵画 金谷正明様
食品 (株)フレイム様
衣類 北江理実様
本 九州労働金庫別府支店様
クリスマスプレゼント 釘宮英子様
クリスマスケーキ 工藤智美様
おせち 一般社団法人ぐるーん様
わらび餅 黒木正道様
米 匿名様
パン コクラート様
米・そうめん 後藤正勝様
衣類 後藤正己様
布団・毛布他 桜井美保様
スタイ 佐々木英理様
米・もち米 佐藤断熱様
衣類・靴・スタイ他 佐藤尚子様
スタイ 佐原秀樹様

アルコール・ハンドジェル 椎原一憲様
乳幼児衣類 塩ノ谷佳奈様
お菓子・クリスマス雑貨 (株)ジャムズ様
シャンメリー 全国シャンメリー協同組合様
ガーゼタオル・飾り 生野裕子様
クリスマスケーキ 白石郁様
お菓子 杉町圭蔵・千穂子様
書籍・絵本 積文館書店様
お菓子 ダイヤモンド(株)様
乳幼児用衣類 高岡なお美様
米 田中喜久男様
衣類 田中浩子様
室内用ジャングルジム 出口正徳様
靴下 匿名様
お菓子・布団・衣類 匿名様
衣類・帽子・靴 (有)トス・カンパニー様
ピザ ドミノ・ピザジャパン様
パン 友永パン様
ベビー服・スタイ・パジャマ プールプーのお客様
乳・幼児用衣類・靴・スタイ他 友永優子様
トランポリン 中島知夏子様
乳幼児用衣類 長野康範様
梨・リンゴ・ミカン・柿 中山田正春様
野菜・卵 二宮洋典(株)九州錦運輸様
野菜・米 二宮篤様
お菓子 日本競輪選手会大分支部様
衣類 日本生命保険相互会社様
お菓子・ミカン・唐揚げ 日本恵教会様
クリスマスケーキ ネクスセラ様
米 大分県農業共済組合様
おむつ 秦章子様
ハンドクリーム ハンドバードの皆様
衣類 (株)ファーストリテイリング様
お菓子・衣類 福本陽子様
絵本 文屋 (代表)木下豊様
アドベントカレンダー 別府不老町教会様
乳幼児衣類 帆足恵子様
DVD ほつともつと様
服・靴 まえはら調剤薬局様
みかん 松下斉様
さといも 松田正人(F・Hももちろ)様
リンゴジュース 松本常圃様
そうめん 松本恒美様
衣類・お菓子 三浦愛輝様

カレンダー 三又建設 ジャック様
米・靴・雑貨 三又和宏様
トイレットペーパー 南里美様
みかん・ピーマン 宮崎孝義・智恵美様
サツマイモ むぎの会様
お菓子 明治安田生命保険相互会社 大分社別府営業所様
米 本林優司様
デザート みどり牛乳 森販売店様
おむつ 森高未来様
服・靴 矢澤あや美様
おもちゃ 安田海人様
お菓子 山口香様
乳児用衣類 山本恵美子様
おもちゃ・ぬいぐるみ・お菓子 山本宣雄様
洋菓子 ラフリーティールームアンドデリ様
お菓子 ユーコーラッキーウエスト上ヶ浜店様
鏡餅 (株)ゆのたに様
絵本 横浜幸銀信用組合様
スタイ・服 吉田幸恵様
紙パンツ・スタイ 萬屋颯子様
さんま 渡辺貞夫様

招待・奉仕

小中学習ボランティア
安東秀典様・井上せつ子様・山口香様
児童の散髪 West Wing/ビュティモア様
書道 荒金節子様
ピアノレッスン 奥山靖子様
金曜学校 尾崎二郎様
” 庄司宣充様
” 吉武二郎様
” 猪股通安様
スポーツボランティア タイム・ディック様
ハンドマッサージ 三浦様・北山様・平川様
イルミネーション 別府観光港様
相田みつお展
国際ソロプチミスト大分1府内 会長熊谷孝子様
演劇「The Day After Tomorrow」立見席代表安田美枝様
七五三写真 木村写真場様
七五三着付け エッチ美容室様
メイク教室 金谷英津子様
集いの場くるみ 平川義文・順子様
中東ヨージ・温泉たま子(水田直子)様
姫野喜昭様・小手川裕市様



不老町教会の皆様からアドベントカレンダーをいただきました。
子どもたちへの温かいメッセージをありがとうございます。

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。
口座名義 社会福祉法人 栄光園
口座番号 019300220748
口座番号 019300220748



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

「門をたたきなさいそうすれば開かれる」いただいたアドベントカレンダーの中のメッセージの一つです。何かを始めなければ何も始まりません。まずは目標を定めて挑戦してみましよう。2022年が皆様にとって幸多き良き年となりますようお祈り申し上げます。(原田)